

# 嬉 望

第 **13** 号

兵庫教育大学 学校経営コース大学院生編集部

## ●インターンシップ中間セミナー実施 【兵庫教育大学会場】

鳥取県、山口県でのインターンシップの中間セミナーに続き、10月2日（日）は、兵庫県と京都府から派遣の8名の実習生のセミナーが、兵庫教育大学で行われました。

当日のセミナーには、実習中の8名の学生（有働敏美先生（県立三木東高校）、奥山勝巳先生（県立神戸北高校）、隈元優一先生（県立小野工業高校）早川千也先生（県立武庫荘総合高校）、山本宏治先生（県立八鹿高校）、馬場隆文先生（加西市立北条小学校）、二井見勝先生（神戸市立井吹西小学校）、山副雅彦先生（京丹後市立網野北小学校））のほか、京都府教育委員会の指導主事にご参加いただきました。また、来年度インターンシップ予定の1年生15名と指導教員5名、さらに、加治佐学長を合わせて30名の参加です。



8名の学生から、インターンシップ前半の成果と、後半に向けた課題の報告がなされ、教育委員会や教員との意見交換により、後半のインターンシップの取り組みの焦点化が図られました。この日は、大学院説明会を実施しており、数名の受験生がセミナーの参観に訪れました。（写真右：見学に来た受験生 写真左：発表する2年生）

## ●学校経営コースが中心となり全国市町村教育長セミナーを実施

平成23年12月23日（金）～12月25日（日）に、兵庫教育大学の主催で、全国都市教育長協議会と全国町村教育長会の後援をいただき、神戸サテライトにおいて、全国市町村教育長セミナーが実施されます。

このセミナーは、地方分権化の進む教育行政において重要な役割を担う市町村教育長に求められる能力開発と情報交換の場を提供することを目的とするもので、全国初の試みではないでしょうか。

基調講演として、1日目は、北城格太郎氏（日本IBM最高顧問）と鈴木寛氏（前文部科学副大臣）の基調講演があり、2日目から3日目には、学校経営コースの堀内孜教授、浅野良一教授と日渡円教授が登壇します。

また、本セミナーは、講義・演習だけでなく、ランチミーティングや夕方の情報交換会もあり、充実した内容が予想されることです。大学事務局のお話では、申し込みの締め切りは10月28日ですが、

多くの申し込みや問い合わせがあり、50名ほどの参加になるのではないかとのことでした。学校経営コースの学生も、修了後、教育行政に携わる可能性のある5人の1年生がセミナーの事務局補佐を兼務しながら参加することになっています。セミナーの講演・講義だけではなく、全国の教育長と意見交換できる場になりそうです。

	12月23日（金）	12月24日（土）	12月25日（日）
午前	/	●講義・演習(1) 「公教育経営の転換課題」 堀内 孜教授	●講義・演習(4) 「教育委員会の諸課題」 日渡 円教授 ●閉講式(加治佐学長)
		【ランチミーティング】	
午後	●開講式・来賓あいさつ 加治佐学長 井戸兵庫県知事（予定）	●講義・演習(2) 「学校改善・改革の支援」 浅野 良一教授	/
	●基調講演(1) 北城 格太郎氏 （日本IBM最高顧問）	●講義・演習(3) 「学校連携の生徒指導」 新井 肇教授	
	●基調講演(2) 鈴木 寛氏 （前文部科学副大臣）		
夕	【情報交換会】		

● 1年生の自主学習活動【その1：地元教育委員会の管理職研修受講】

9月は、大学院の授業はありません。2年生は、現任校や教育委員会でインターンシップ(実習)を行っています。1年生は、自主的に様々な学習に取り組んでいます。そのひとつが、地元教育委員会の管理職研修への参加です。

本学教員が講師を務める研修会を中心に、先方の了解を得て、傍聴あるいは受講生、時には講師として参加しています。



地元の研修なので、顔見知りの先生方も多く、兵庫教育大学教職大学院での様子を伝えるメッセージの役割も担っています。

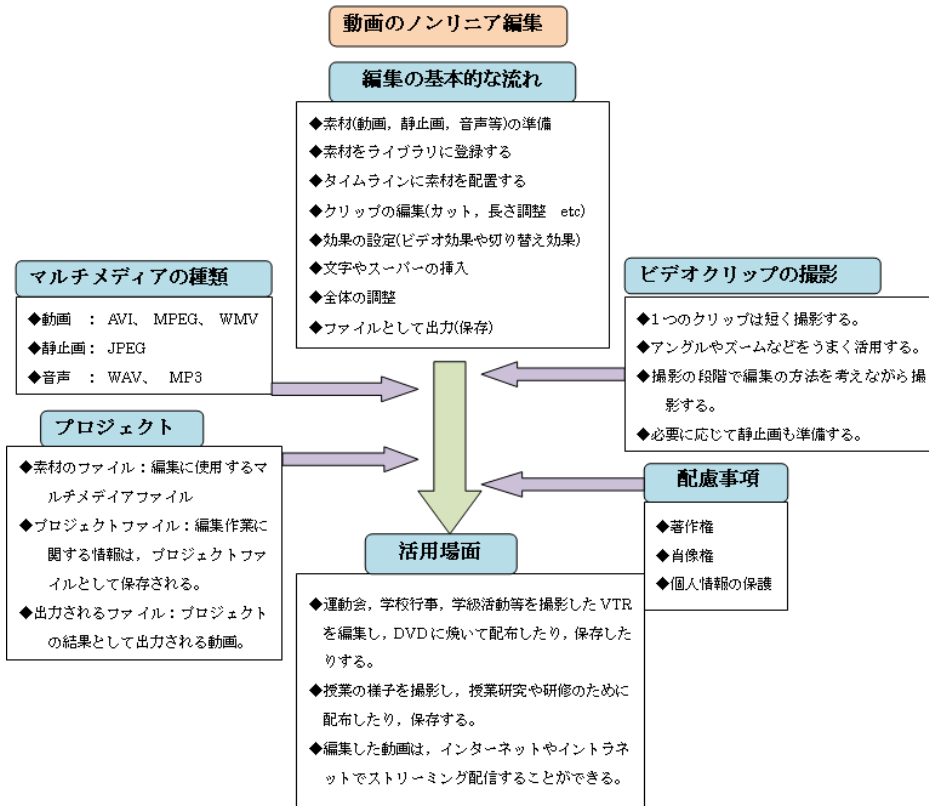
写真右は、山口市の管理職研修の演習に参加する1年次生平原先生で、写真左は、福岡県の校長研修で、教育センターの教育経営部長からアドバイスをもらう1年次生才田先生です。



● シリーズ 兵庫教育大学教職大学院の授業 ⑫

～教員のための情報処理演習(応用)～(選択共通基礎科目)

今回の授業紹介は、1年後期に開講されている「教員のための情報処理演習(応用)」です。「教員のための情報処理演習(基礎)」は11号で紹介しましたが、この科目はさらにそれを発展させた内容になっています。「基礎」と同じように、理論的な解説もありますが、授業の中心は演習・実技です。ホームページ作成やVBA、動画編集などを行いました。他のコースの院生の中には定年を過ぎたあとに学びにこられて、「基礎」の授業からコンピュータを本格的に学び始められた先生もいらっしゃいましたが、ユニークで素晴らしい作品を作っておられました。学校経営コースの私たちにとっては、ICT活用によって教育に関わるものが具体的にどんな技術で何ができるか、どのくらいの労力を要するかを知っていることは重要です。また、新たな技術の導入などに対して敷居が低くなることでしょう。また、これからの管理職が直接使うことはないかというところではありません。たとえば、大学の事例研究で学んだ、開かれた学校づくりで優れた取り組みをしている学校の校長先生は校長通信や校長ブログなどで情報コンテンツをうまく利用していることがほとんどでした。また、学校評価などをうまく活用している学校の校長先生もデータ分析において情報スキルが高い先生が多くおられたようです。このように、これからの学校経営には管理職といえども情報スキルが高ければ高いにこしたことはないのです。先の定年を過ぎた後も学びにこられている先生の例もそうですが、何より新しいことに前向きに積極的に取り組む姿勢が児童生徒だけでなく、私たち教師にも求められているのでしょ



が、ユニークで素晴らしい作品を作っておられました。学校経営コースの私たちにとっては、ICT活用によって教育に関わるものが具体的にどんな技術で何ができるか、どのくらいの労力を要するかを知っていることは重要です。また、新たな技術の導入などに対して敷居が低くなることでしょう。また、これからの管理職が直接使うことはないかというところではありません。たとえば、大学の事例研究で学んだ、開かれた学校づくりで優れた取り組みをしている学校の校長先生は校長通信や校長ブログなど

で情報コンテンツをうまく利用していることがほとんどでした。また、学校評価などをうまく活用している学校の校長先生もデータ分析において情報スキルが高い先生が多くおられたようです。このように、これからの学校経営には管理職といえども情報スキルが高ければ高いにこしたことはないのです。先の定年を過ぎた後も学びにこられている先生の例もそうですが、何より新しいことに前向きに積極的に取り組む姿勢が児童生徒だけでなく、私たち教師にも求められているのでしょ